



弘前アップル RC 週報

会長：山本周平 幹事：菊池 勲

2013/06/03

第 49 回例会

弘前アップル RC 事務所

〒036-8086 青森県弘前市田園 1-21-1 アイエーネットワーク内

祝！弘前アップルロータリークラブ

創立 1 周年！！

「私の履歴書」

内部卓話：坂本 大輔会員



改めまして、坂本大輔と申します。今日は、「私の履歴書」というテーマで内部卓話をする事になっていますが、こうして振り返ることは初めてかもしれません。とりあえずタイトル通

り、資料は履歴書のように作成しました。配布した資料を参考に、卓話を聴いていただけたら幸いです。



お手元の資料をご覧の通り、私は、昭和53年生まれで、9月で35歳になります。以前から事務局や会計さんからは、ロータリーの会費が上がるので、私が35歳になることに対して祝福の声が大きいです。さて、話を続けます。私は、弘前市の出身ではなく、第63代横綱旭富士関と同じ、旧西津軽郡木造町（現在つがる市）の出身です。

生まれてから小学校4年生までの10年間過ごしたことがあります。小学校は、自宅から徒歩で5分かからない近くの木造町立向陽小学校に通っていました。後ほど、家族構成で紹介しますが、5歳年上の兄が1人いまして、兄の高校（青森県立弘前高等学校）進学のため、小学校5年生の時から、父、母、兄、私の4人、弘前市に移住し、現在もそこに住んでいます。

転校先は、徒歩で約10分の弘前市立桔梗野小学校でした。よって、桔梗野小学校卒業になっています。中学校は、同じく徒歩で約10分の弘前市立第四中学校に通いました。母がよく「近くの学校に通いなさい」と言っていたので、兄の進学先も影響し、結果的に、高校も徒歩で約10分の兄と同じ高校に通うことになりました。ただし、中学校で5教科500点満点中の490点をとるような学年のトップほど賢いわけではなく、強運だけだと思っています。実際、私の学年は、中体連での優勝旗の数、弘前高校・弘前南高校・弘前中央高校の進学率などから、未だに当たり年だったと言われているくらい、恵まれた学年でした。私の卒業した次の学年から荒れ始めた

みたいですが、話は元に戻り、私は高校に進学してからは、入学当初から授業のスピードに出遅れてしまい、いい成績ではありませんでした。私の時は、第二次ベビーブームの受験戦争の最中で、まだ詰め込み式の暗記が求められる時代でした。青森高校、八戸高校と共に“御三家”と言われ、進学結果が求められる弘前高校。宿題の量の膨大さなどについていけず、とにかく苦痛の3年間でした。

特に、英語には苦い経験があります。宿題が間に合わないまま、授業に臨むと、客席出来ず起立したままを求められ、リベンジの意味で、教師から当てられ、解答出来ればいいのですが、出来なかった場合は、今度は椅子に正座され、さらに、解答出来なかった場合は、学習机に正座されることもありました。

3ヶ月から6ヶ月に1回本当に疲れている時は、必ず英語の授業の夢を見ます。その時は、体に気をつけるようにしています。こうした高校での経験を通して、上には上がいることを肌身を持って痛感しました。ナンバーワンではなく、オンリーワンへの道。他人よりも良い結果を出す際、私の辞書には、「同じことで5倍、違うことで2倍」という言葉があり、私ならではの独自性を求める後者の方法を選ぶようになった理由は、この時の経験があったからでしょう。この時の失敗の経験が、現在の私に活かされているとはいえ、将来、私に子供ができたとしても、私自身、たぶん弘前高校には進学は勧めないでしょう。



高校を卒業して、仙台にある東北福祉大学に進学しました。高校の時の挫折を残しながらの進学。この先、どうすればいいのか、自問自答しながら受講した「社会福祉原論」の教授になぜか惹かれ、「いつか、教授のように、この東北福祉大学の大使で講義したい」という夢を追い、そのまま大学院に進学しました。ちなみに、修士論文のテーマは、「イタリア・ファシズム期における社会事業の形成と展開について」です。

修士課程の大学院を修了した後、学長補佐の紹介で、岩手県北上市にある専修大学北上福祉教育専門学校福祉介護科（介護福祉士課程）の専任講師として、3年間、「社会福祉概論」、「老人福祉論」など介護福祉士養成の科目を担当していました。

ここで、卓話の展開上、家族構成について話しますが、私の両親は共に、社会福祉施設の施設長をしています。社会福祉法人島光会（とうこうかい）といいまして、私が幼い時の昭和58年認可され、知的障害者更生施設、現在の障害者支援施設「草薙園」（定員50名）から始まり、平成12年の介護保険法の施行に伴い、「草薙デイサービスセンター」、「草薙訪問介護事業所」、「グループホーム大森」、そして障害者グループホーム「くさなぎ希望寮」を設立、平成16年には「すその保育園」を含めて、他にも大なり小なり施設がありますが、今日に至っている次第です。

この法人は、父方の伯母さんの嫁ぎ先である嶋野さんの協力のもとに設立されています。事実上、父が中心として運営していますが、この時の協力がなければ認可まで至っていなかったことも事実です。嶋野さん一家には直接、言ったことはありませんが、私たち一家をここまでさせるきっかけをつくってくれた初代理事長夫妻をはじめとする嶋野さん一家には、感謝しています。おそらく、これからも私の中では、嶋野さんにご恩を感じながら生きていくのでしょう。さて、話が少し横にそれましたが、父は障害者分野、母は高齢者分野、兄は児童福祉分野をそれぞれ分担していました。兄が他にやりたいことがあり、児童福祉分野の「すその保育園」園長を退職することになり、急遽、こちらに戻るようになりました。

そして、そういう理由から、私は、平成18年から現在に至るまで、社会福祉法人島光会すその保育園の園長を務めています。すその保育園は、アップルロータリーらしく、リンゴの生産量が日本一の青森県弘前市にあります。皆さんご存知の通り、弘前市の北西には、円錐型の山容から、別名「津軽富士」とも呼ばれる青森県で最高峰の独立峰の岩木山（約1,625m）があります。すその保育園の所在する地域は、この皆さんが毎日目にする独立峰北麓の中山間地域に位置しており、この地域を県道が1本走っています。近年、この県道にほぼ平行する広域農道が整備されましたが、一部区間は、冬季閉鎖（12月1日～3月31日）となっているくらい豪雪地帯です。この県道に沿う形で、



6 部落(総世帯数約 1,500 世帯：4,500 人)が存在しています。その中心となる部落に、弘前市役所の出張所、公民館、農業開発センター、郵便局などがあります。

この地域から市の中心部(約 17 km)までは、約 1 時間半の時間を要し、バスの便数は 6 便(朝 2 便、日中 2 便、夕方 2 便)と、この地域住民の交通の便は極めて悪い。このように交通不便な中山間地域においては、無医村状態になっており、実際に医療機関を利用する場合、市の中心部までは自家用車で約 1 時間の時間を要し、むしろ隣町の中心部に行った方が近いが、それでも通院に要する時間は約 30 分あります。

教育機関として、この中山間地域には、小学校が 2 校(うち 1 校はへき地学校 1 級)、中学校が 1 校(準へき地学校)、へき地保育所が 1 ヶ所あります。小学校は 2 校ともに過疎化現象による児童数の急減が続き、複式学級などを余儀なく実施している現状です。

この地域の主な産業は、独立峰山麓の丘陵地を利用したリンゴ栽培が中心となっている純農村地域で、有業者の大半がそれにより生計を維持していますが、近年、世帯内の構成員によっては急速に兼業化へ移行しつつあります。よって収入を得るため、弘前市内に自家用車にて通勤するサラリーマンも少なくありません。また収穫後の冬期間、出稼ぎへ出かける世帯も少なくなく、このような状況から、すその保育園は過疎化現象の激しい中山間地域に位置しています。すその保育園を設立する

ことになった経緯も、こうした過疎化が激しい中山間地域にあるため、それに伴う少子化、さらに老朽化の理由から地元のへき地保育所が閉園することにより、地元の要望から平成 16 年に「すその保育園」として事業開始に至っています。

保育園の定員は、50 名で、平成 25 年 6 月 1 日現在、男子 21 名、女子 26 名、合わせて 47 名です。ここ 2～3 年を見ると、平均 45 名～50 名の園児が利用しています。

利用する方々の特徴として、親世代が祖父・祖母世代と同居する直系家族、言い換えれば、普通に見られる「三世代同居」をとるとともに、さらに親戚と同居することによって、相互協力など連合形態をとっているのが、特徴です。しかも、昔、「マスオさん現象」という流行語がありましたが、お嫁さんの実家に旦那さんが住む形式をとる世帯が多いです。

私自身、利用する保護者の皆さんのことを考え、経済的に負担の掛からないことを考慮しながら質の高い保育サービスを提供しようと、日々、職業奉仕に取り組んでいます。リクルートの社は「ハッピートライアングル」ではありませんが、①利用者(保護者)、②職員(保育士)、③経営者(私)のそれぞれが共に幸せになれるような、三角形を描くと重心、実際の生活においては、妥協点を図る仕事をいつもしています。

とりあえず、園長としては、まず、教育内容の充実に取り掛かりました。



やはり、保育園の社会的役割を考察した場合、卒園するまで、衣・食・住の確保を基本に、園児を無事に保育し、小学校へ送り出すことでしょう。やはり園児は、将来の日本社会を担う大切な人材です。その基礎作りを果たすことが保育園にとっての一番重要な役割ですので、毎週月曜日に3歳以上を対象にしたプール教室、そして年長児を対象にした音楽教室。火曜日・木曜日には、4・5歳児を対象にしたサッカー教室、あと今年1月からは、関場特別代表のご令嬢の佐藤真世先生を講師に迎え、英語教室も開講しています。

この他にも、小・中学校との連携強化ということで、地域の小学校2校、中学校1校では、「裾野中校区三校連携教育委員会（通称：スクラム・スリー）」というプロジェクトを立ち上げて、共に手を取り合って9年間を通して、子どもを教育しようとしているので、

年2回、中学3年生が体験学習として1日実習に来ていたりもしています。

あと、面白い取り組みとしては、園庭マラソンというのを実施しています。お手元の配付資料をご覧の通り、日本教育新聞にもこのことは記事として取り上げられたこともあります。これは、体力づくりの一環として、朝の会プログラムに園庭マラソンを取り入れたものです。この園庭マラソンを実践する以前は、サッカー大会や運動会など体力を必要とする行事で、園児たちの体力が続かなかつた場面が見られたので取り入れました。体力づくりの一環と

して園庭マラソンを取り入れた結果、園児の体力向上に影響があることが見られ、実際、毎年10月頃に開催される「JFAキッズ（U-6）サッカーフェスティバル」という50チームくらいが参加する大きな大会で、ベスト8、ベスト4の好成績が続いています。ちなみに、サッカーを教えているのは、私です。

園長としての仕事は、たくさんあります。私の場合は、法人事務局も兼務し、さらには、送迎バスの運転手、サッカー教室のコーチも兼務しています。最近、日本ハムの大谷翔平選手の、打者と投手の二刀流が話題になっていますが、私は全然珍しくありません。

時間が来たので、このような感じで卓話を終わらせていただきますが、少しでも私という人間を知ってもらえたら幸いです。どうもご静聴ありがとうございました。



会長挨拶 山本周平 会長

ちょうど1年ということで、今日出席できて良かったです。1年ってあつという間だなという感じですけど、私はまだまだ1か月あるのかと感じております。荒田さんと坂本さんにいつでもお役目をお渡ししたいところです。実はだいぶ息切れしております(笑)でも、本当にみなさんのおかげでここまでやってこれたと感じております。



あと本日は小林さん、このよき日にお越しいただきありがとうございます。小林さんが来ていただけると、坂本さんの煩惱がなくなったりとか、変な夢をみなくなるような、ありがたいお話を聞けるのではないかと思います。私も、禁煙をするのには、小林さんのお力があるかもしれないので、是非お力をお貸しいただければ嬉しいです。今後ともお越しいただければと思います(笑)



終了後、創立1周年の記念撮影を致しました。



今後ともアップルロータリーが末永く続きますよう、皆様のお力をお貸し頂ければ幸いです。



ニコニコ報告

吉澤葉子会員：小林さん、ようこそ弘前アップルロータリーへおいでくださいました。記念すべき1周年、おめでとうです。乾杯で飲んだコーヒーの味

は特別です！！坂本さん、卓話ナイスでした(*^。^*)

坂本大輔会員：設立して1年。弘前アップルロータリークラブ発足1年おめでとうでございます。会長・幹事、特別代表など、主たる人物を胴上げしたいのですが、心の中でしておきます(笑)

木村由美会員：停ちゃんと久々の再会！！笑顔を見て安心する母でした(*^。^*)

関場慶博会員：小林伯裕さん、お待ちしていました。一緒にロータリーを楽しみましょう。

宇野純子会員：坂本さんの卓話たのしみにしてきました。小林さんようこそ！停ちゃん、いつも笑顔で素敵だよ。

三浦順子会員：小林様ようこそおいでくださいました。停ちゃんお久しぶり～。スピーチ楽しみにしています。

吉田淑子会員：小林さん、ようこそおこしくできました。今日は1周年なんですね。もう1年経ったんだー。早い。

山田順子会員：みなさまお久しぶりです。相変わらずバタバタしていますが元気です。小林さんようこそ！！また平均年齢下がりますね～、うれしいです！

澁谷明広会員：土曜日は五苑で焼肉。日曜日は自宅でバーベキュー。週末で3kg太ってしまいました。



岡本薫会員：早いものでもう6月ですね。季節の花々に元気をもたらしている今日この頃です。

田中裕介会員：6月6日、はじめて手術を受けます。親不知ぬいてきます。大丈夫でしょうか・・・？

山本周平会員：祝アップルロータリー1年！ロータリアンとして良い歳をとっていきたいです。小林さん、このよき日によろこそおいでいただきました。ありがとうございます。記念に一つ宣言します。禁煙します！！あー、言ってしまった・・・



出席報告

第49回例会

出席者数 14名

出席率 50%

修正出席率 86%

【メイクアップ】

5月29日

アカデミー委員会

秋元会員、荒田会員、菊池会員、関場会員、田中会員

6月1日

懇親会

渡邊会員、宇野会員、坂本会員、澁谷会員、三浦会員

■例会予定

6月10日(月) 委員会活動報告
会員増強・会員増強維持・管理運営・
アカデミー各委員会

6月17日(月) E例会

6月24日(月) 委員会活動報告
奉仕プロジェクト委員会、会長総括

6月29日(土) 親睦バーベキュー

■地区内外行事

10月5-6日 地区大会(八戸市)